HOKUGA 北海学園学術情報リポジトリ
学校法人北海学園
北海学園大学
北海商科大学

タイトル	彙報・活動・編集後記・規定
著者	
引用	年報新人文学(17)
発行日	2020-12-25

Hokkai-Gakuen Organization of Knowledge Ubiquitous through Gaining Archives.

【彙報】

令和元年度 **大学院文学研究科**

❖学位論文題目一覧

博士学位論文

●日本文化専攻修士課程

学位記番号	氏名	博士論文題目
博（文）乙第七号	牛米　努	近代日本の課税と徴収

修士学位論文

●日本文化専攻修士課程

氏名	修士論文題目
伊藤　翔太	天皇説話と天皇権威の変化 ―前世説話を中心として―
山崎　朔夜	『伊勢物語』における和歌の考察 ―歌徳説話を手掛かりに―
孔　継金	戦国期山科本願寺寺内町の宗教的特質について
田澤あす美	介護分野における外国人人材の日本語能力記述について ―技能実習生を中心として―
佐野　元紀	平安期の鬼の特質 ―『今昔物語集』世俗部と仏法部の比較を通じて―
新田　沙織	神仙思想の変遷 ―中近世神仙思想の意義―

●英米文化専攻修士課程

氏名	修士論文題目
辻見　祐太	旧約聖書祭司文書における贖いの概念

❖授業科目及び担当者

●日本文化専攻博士（後期）課程

授業科目	担当教員
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	テレンゲト・アイトル　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	テレンゲト・アイトル　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	テレンゲト・アイトル　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	中川かず子　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	中川かず子　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	中川かず子　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	田中　綾　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	田中　綾　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	田中　綾　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	徳永良次　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣB	徳永良次　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣC	徳永良次　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤA	大谷通順　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤB	大谷通順　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅤC	大谷通順　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥA	菅　泰雄　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥB	菅　泰雄　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅥC	菅　泰雄　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦA	大石和久　教授

授業科目	担当教員
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦB	大石和久　教授
日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅦC	大石和久　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	追塩千尋　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	追塩千尋　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	追塩千尋　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	郡司　淳　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	郡司　淳　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	郡司　淳　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	手塚　薫　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	手塚　薫　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	手塚　薫　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣA	須田一弘　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣB	須田一弘　教授
日本歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣC	須田一弘　教授

●英米文化専攻博士（後期）課程

授業科目	担当教員
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠA	田中洋也　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠB	田中洋也　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅠC	田中洋也　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡA	米坂スザンヌ　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡB	米坂スザンヌ　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅡC	米坂スザンヌ　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢA	上野誠治　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢB	上野誠治　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢC	上野誠治　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣA	佐藤貴史　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣB	佐藤貴史　教授
欧米言語・思想文化論文指導特殊演習ⅣC	佐藤貴史　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠA	柴田　崇　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠB	柴田　崇　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅠC	柴田　崇　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡA	大森一輝　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡB	大森一輝　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅡC	大森一輝　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢA	小松かおり　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢB	小松かおり　教授

授業科目	担当教員
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅢC	小松かおり　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣA	仲松優子　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣB	仲松優子　教授
欧米歴史・環境文化論文指導特殊演習ⅣC	仲松優子　教授

●日本文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
日本文学特殊講義Ⅱ	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡA	田中　綾　教授
日本文学特殊講義演習ⅡB	田中　綾　教授
比較文学特殊講義Ⅰ	テレンゲト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠA	テレンゲト・アイトル　教授
比較文学特殊講義演習ⅠB	テレンゲト・アイトル　教授
比較文学特殊講義Ⅱ	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡA	大谷通順　教授
比較文学特殊講義演習ⅡB	大谷通順　教授
日本思想特殊講義Ⅰ	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義演習ⅠA	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義演習ⅠB	鈴木英之　准教授
日本思想特殊講義Ⅱ	大石和久　教授
日本思想特殊講義演習ⅡA	大石和久　教授
日本思想特殊講義演習ⅡB	大石和久　教授
日本語研究特殊講義Ⅰ	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義演習ⅠA	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義演習ⅠB	中川かず子　教授
日本語研究特殊講義Ⅱ	徳永良次　教授
日本語研究特殊講義演習ⅡA	徳永良次　教授

授業科目	担当教員
日本語研究特殊講義演習ⅡB	徳永良次　教授
日本語研究特殊講義Ⅲ	菅　泰雄　教授
日本語研究特殊講義演習ⅢA	菅　泰雄　教授
日本語研究特殊講義演習ⅢB	菅　泰雄　教授
比較言語研究特殊講義·jⅠ	寺田吉孝　教授
比較言語研究特殊講義演習·jⅠA	寺田吉孝　教授
比較言語研究特殊講義演習·jⅠB	寺田吉孝　教授
日本史特殊講義Ⅰ	追塩千尋　教授
日本史特殊講義演習ⅠA	追塩千尋　教授
日本史特殊講義演習ⅠB	追塩千尋　教授
日本史特殊講義Ⅱ	郡司　淳　教授
日本史特殊講義演習ⅡA	郡司　淳　教授
日本史特殊講義演習ⅡB	郡司　淳　教授
環境文化特殊講義·jⅠ	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義演習·jⅠA	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義演習·jⅠB	手塚　薫　教授
環境文化特殊講義·jⅡ	須田一弘　教授
環境文化特殊講義演習·jⅡA	須田一弘　教授
環境文化特殊講義演習·jⅡB	須田一弘　教授
環境文化特殊講義·jⅢ	中村英重　講師

●英米文化専攻修士課程

授業科目	担当教員
英米文学特殊講義Ⅰ	渡部あさみ 准教授
英米文学特殊講義演習ⅠA	渡部あさみ 准教授
英米文学特殊講義演習ⅠB	渡部あさみ 准教授
英米文学特殊講義Ⅱ	森川慎也 准教授
英米文学特殊講義演習ⅡA	森川慎也 准教授
英米文学特殊講義演習ⅡB	森川慎也 准教授
英語研究特殊講義Ⅰ	上野誠治 教授
英語研究特殊講義演習ⅠA	上野誠治 教授
英語研究特殊講義演習ⅠB	上野誠治 教授
英語研究特殊講義Ⅱ	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義演習ⅡA	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義演習ⅡB	米坂スザンヌ 教授
英語研究特殊講義Ⅲ	田中洋也 教授
英語研究特殊講義演習ⅢA	田中洋也 教授
英語研究特殊講義演習ⅢB	田中洋也 教授
英語研究特殊講義Ⅳ	ブシャー・ジェレミ 准教授
英語研究特殊講義演習ⅣA	ブシャー・ジェレミ 准教授
英語研究特殊講義演習ⅣB	ブシャー・ジェレミ 准教授
欧米思想特殊講義Ⅰ	小柳敦史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅠA	小柳敦史 准教授

授業科目	担当教員
欧米思想特殊講義演習ⅠB	小柳敦史 准教授
欧米思想特殊講義Ⅱ	佐藤貴史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅡA	佐藤貴史 准教授
欧米思想特殊講義演習ⅡB	佐藤貴史 准教授
欧米史特殊講義Ⅰ	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義演習ⅠA	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義演習ⅠB	仲丸英起 准教授
欧米史特殊講義Ⅱ	大森一輝 教授
欧米史特殊講義演習ⅡA	大森一輝 教授
欧米史特殊講義演習ⅡB	大森一輝 教授
欧米史特殊講義Ⅲ	仲松優子 准教授
欧米史特殊講義演習ⅢA	仲松優子 准教授
欧米史特殊講義演習ⅢB	仲松優子 准教授
環境文化特殊講義eⅠ	小松かおり 教授
環境文化特殊講義演習eⅠA	小松かおり 教授
環境文化特殊講義演習eⅠB	小松かおり 教授
環境文化特殊講義eⅡ	柴田 崇 教授
環境文化特殊講義演習eⅡA	柴田 崇 教授
環境文化特殊講義演習eⅡB	柴田 崇 教授

文学研究科教育・研究発表活動

◎二〇二〇年度第一回〔全体ゼミ〕(修士課程二年・中間報告)

七月四日（土）10：40～11：40、本学21番教室にて開催された。修士課程二年に在学する二名の院生が次の題目で論文の構想とその内容の一部を発表した（参加者約30名）

古田くるみ「北海道地域形成史の研究　―士族の動向を中心として―」

真島　毅「天皇の軍隊における絶対服従の論理―二・二六事件を事例として―」

◎二〇二〇年度第二回〔全体ゼミ〕(中間報告)

十一月七日（土）発表の申し込みがなかったため中止

◎北海学園大学人文学会第八回大会

二〇二〇年十二月十日（木）14：30～17：00

本学AV4番教室にて、人文学会第八回大会を開催した。今年度は、二〇二〇年に着任された四名の先生方の内、谷端郷先生と岡田一祐先生に、これまでの研究成果についてご発表いただいた。

谷端先生は、「歴史災害研究への人文地理学からのアプローチ」と題して、近代日本の都市、特に一九三〇年代の京都市・大阪市・神戸市における水害被災に関するご研究について発表された。当時の被害状況図に加えて地理情報システム（GIS）を活用した分析により被害状況を地図化したプロセスを詳細に解説された。

岡田先生は、「平仮名の歴史から見た明治時代」と題して、もともと多字体系を有していた平仮名が明治時代にどのように統一されていったのかについて、統一から漏れて変体仮名になったものを歴史資料や草稿からふんだんに取りあげて発表された。また明治の平仮名統一の背景に国語国字問題があったことも詳しく解説された。

両先生の発表に対して参加者から多くの質問やコメントがあり、教員同士の有意義な研究交流の場となった。

司会：柴田崇（北海学園大学人文学部教授）

・発表

○歴史災害研究への人文地理学からのアプローチ

谷端郷（北海学園大学人文学部講師）

○平仮名の歴史から見た明治時代

岡田一祐（北海学園大学人文学部講師）

編集後記

◉『年報新人文学』第17号をお届けします。本号は、論文二本、研究ノート二本、資料紹介一本を収めています。論文が例年に比して少ないように思われますが、研究ノートも含め、力のこもった論考となっています。また、本学所蔵の貴重書のカラー画像も掲載しました。執筆された方々、厳正な査読にご協力いただいた方々には心よりお礼申し上げます。

◉巻頭言は、上野誠治研究科長から「新型コロナウイルス断想」として、最近の情勢から掘り下げ、歴史的なペストなどのパンデミックやそれを言語学的に捉えたお言葉をいただきました。気が滅入るような中にあっても、歴史的に見れば必ず明るい未来があることを示していただいております。こんにちの問題としても、研究テーマはいずこにもあり得るというまさに人文学的な巻頭言と言えると思います。

◉丸島歩氏には着任早々にもかかわらず論文を投稿いただきました。「女性声優の演技音声にあらわれるジェンダーの表現―母音フォルマントに着目して―」と題するこの論文は、ご専門の実験音声学的研究をアニメーションのアテレコにおいて、同一の女性が男性役と女性役を使い分ける際の、母音における違いをテーマにした社会言語学とも関わる研究です。日本では江戸時代の歌舞伎から「声色（こわいろ）」という一種のモノ真似がありましたが、それが現代においては十分研究対象となり、音声学・社会学的にも興味深いものであることを実証されました。今後の進展が期待されます。

◉岡田一祐氏にも、今年度着任されたばかりにもかかわらず「明治前期鋳造活字の平仮名書体における濁音表示と仮名字体意識」と題する論文を投稿いただきました。明治前期に、平仮名の濁音表示をどのようにしていたのか、また、それに付随する仮名字体に関して、当時の国学者や印刷の変化（木版から活版へ）と関連させて論じたものです。この時期の文字・表記の分野はまだまだ未解明のことがらが多く、岡田氏の論考によって日本語学界に新たな知見を提供するものと期待されます。

◉柴田崇氏には研究ノートとして「メディア研究と心理学の接点：『探索モデル』」を投稿していただきました。日本心理学会の公開シンポジウムで発表された論考をまとめられたもので、メディア研究と生態心理学の専門家としての立場から両学問領域の接点となる「探索」モデルの意義を明快に説明され、ネットメディアの生態心理学の可能性を考究されています。両分野を専門としない読者にも理解できるような書き方がされてあり、その内容も大変興味深いものとなっ

ています。

◉辻見祐太氏からは「レビ記における「罪」と「赦し」」と題した研究ノートを投稿いただきました。辻見氏は２０２０年に本学大学院文学研究科修士課程を修了され、本学職員として激務をこなしながら、着実に研究を継続されています。本論考では、旧約聖書における贖いに関する研究が不十分であることを問題提起され、旧約聖書中のレビ記を中心に贖罪論における罪と赦しに着目してその内容を詳細に考察されています。今後も研究を進められ、ふたたび本誌に投稿されることを期待しています。

◉徳永良次（編集委員）は、本学所蔵の宋版一切経『道神足無極変化経巻第四』一帖の書誌解説と影印を掲載しました。この資料は、本学の前身である北海中学校初代校長、浅羽靖が設立した『北駕文庫』という蔵書の一点として所蔵されているものです。『北駕文庫』には三万点以上の古書がありますが、その中でも最も古いもので非常に貴重なものです。今回、『新人文学』としては始めてカラーでの掲載となりました。

（徳永良次・森川慎也）

『年報 新人文学』投稿規定

一、『年報 新人文学』は、人文学に関する広範な分野の研究成果を掲載し、内外の研究交流を図ることを目的とし、年一回発行を原則とする。

二、投稿原稿の著者は、人文学部及び文学研究科の所属者でなければならない。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。

三、原稿は日本語、あるいは英語とし、種類と分量はそれぞれ次のとおりとする。

①原著論文で未発表のもの、日本語なら二〇、〇〇〇字、英語なら一〇、〇〇〇字程度。

②研究ノート・資料・報告など、日本語なら一二、〇〇〇字、英語なら六、〇〇〇字程度。

③書評など、日本語なら四、〇〇〇字、英語なら二、〇〇〇字程度。

④その他、編集委員会が必要と認めたもの。

四、原稿は編集委員会で厳正な審査を行い、採否を決定する。編集委員会は査読結果に基づき、原稿の一部変更を求めることがある。

北海学園大学大学院文学研究科
『年報 新人文学』編集委員会